
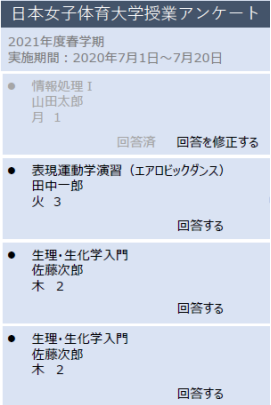
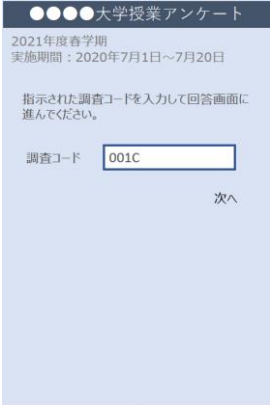


	簡易版 (Googleフォーム利用)	WEB21	
		A：履修データあり	B：履修データなし
ログイン	なし	ID・パスワードによるログイン	ID・パスワードによるログイン
回答科目の 選択の容易 さ	ドロップダウンリストから探して選択するため、科目選択に若干の煩わしさがある。 	自分の受講している科目のみが表示されるため科目選択が容易。 	当社で発行する調査コードを入力することで回答科目の回答画面に移行できる。 
科目の選択 間違い	防止できない。 多数のリストから選択するため、科目の選択間違いが発生する可能性がある。	防止できる。 自分の履修している科目しか画面に表示されないため、科目の選択間違いは起こらない。	防止できる。 調査コードはチェックデジット付きの為、誤ったコードを入力すると回答画面に進むことができない。
重複回答	氏名を入力して回答してもらうことで、集計段階で重複削除することは可能。但し氏名の誤入力、他人の名前による回答を防止することはできない。	重複回答の防止が可能。	重複回答の防止が可能。
回答漏れ	回答済み科目と未回答科目が分からなることもあり、重複回答の他、回答漏れ科目の発生確率もWEB21と比較して高くなる可能性がある。	回答済み科目と未回答科目が一目で分かるため、回答漏れ科目が発生しにくい。	回答済み科目/未回答科目は一覧表示されないため、学生自身の自主管理による。 対面授業またはリアルタイムのオンライン授業内で実施するなどの運用により、回答率を上げることは可能。
その他の 対応	—	学生ID毎に回答科目、未回答科目を集計することも可能。	<ul style="list-style-type: none"> 科目毎の調査コードを学生に通知する必要がある。 (学内使用の時間割コードが授業アンケート集計単位として使用できる場合はそれでも可) 学生ID毎に回答科目、未回答科目を集計することは可能。